

4.「平成24年6月1日時点で配置している看護職員数」と「平成24年6月1日時点の需要人員数」との差を、『実人員数』および『常勤換算数』のそれぞれについて示したことになります。これらの差が0以外の場合、「実人員数」および「常勤換算数」のそれぞれに関して、該当する理由を選択してください(複数回答)。選択肢以外の理由がある場合は、『実人員数』と『常勤換算数』のそれぞれに該当するか否かを選択し、「その他」にその理由を記載してください。なお、差が0の場合(「平成24年6月1日時点で配置されている看護職員数」と「平成21年6月時点の需要人員数」は変わらない)、理由の選択は不要です。

・エクセルで数値を入力する場合、「平成24年6月1日時点で配置している看護職員数」と「平成24年6月1日時点の需要人員数」との『実人員数』および『常勤換算数』が自動表示されます。

* 紙媒体の調査票の場合、『実人員数』および『常勤換算数』のそれぞれについて、

質問1の「平成24年6月1日時点で配置している看護職員数(合計)」から、質問2の「②平成24年6月1日時点における需要人員数」を引いて算出し、記入してください。

「平成24年6月1日時点で配置している看護職員数」と「平成24年6月1日時点の需要人員数」との差

看護職員数	実人員数		「平成24年6月1日時点で配置している看護職員数の実人員数の 合計」と「平成24年6月1日時点の需要人員数(実人員数)」との差になります。
	常勤換算数		「平成24年6月1日時点で配置している看護職員数の常勤換算数の合計」と「平成24年6月1日時点の需要人員数(常勤換算数)」との差になります。

「平成24年6月1日時点で配置している看護職員数」と「平成24年6月1日時点の需要人員数」との差が0以外の場合における理由		
実人員数	常勤換算数	理由(複数回答)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現行の看護必要度を考慮し、自院の入院基本料算定区分を引き上げたい
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新人看護職員や再就業者に対する業務のサポートやフォローを直接的に行うことができる中堅看護職の増員を図りたい
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい(新人看護職員研修、再就業支援研修、看護学生実習等に対応するための教育を担える看護職の増員[研修受講による 代替職員の確保を含む])
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい(医療ニーズの高い外来患者、外来化学療法、日帰り手術の増加に対応)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	労務管理機能を強化するために増員を図りたい(例:労働時間の見直し、夜勤体制の見直し、時間外労働の短縮、年次有給休暇取得数の増加、産前・産後、育児休業の取得人数や取得日数の増加、介護休業の取得日数の増加、介護休暇及び看護休暇の取得者数及び取得日数の増加)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい(看護管理や医療安全管理に係る担当者、専門・認定看護師の配置数の増加)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他1:
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他2:
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他3:
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他4:

設問Ⅱへ続きます

資料5

Ⅱ.看護職員の需要を推計するための方法論を検討するための質問になります。

看護職員配置の各想定条件において、A～Cのうち、方針を一つ選択し、1～4のうち該当するもの全てに○をつけてください。

(エクセルで回答される方は○を選択してください。)

- ・各想定条件のもとで、現状を踏まえ、実現可能と判断される場合の平成27年末時点の需要人員の実員数と常勤換算数を記入してください。
- ・非該当の想定条件については、看護職員配置に関する選択、実員数と常勤換算数の記載は不要です。
- ・看護師、助産師、保健師の配置基準は、貴施設が設定している基準となります。
- ・⑥分娩件数の増減は「看護師」と「助産師」、⑦外来・健診、地域連携機能の縮小・拡大は「看護師」と「保健師」に分けて、実員数と常勤換算数を記入してください。
複数免許を有する看護職が該当する場合、実際に行っている業務に最も関係する資格に計上してください。
- ・①～⑦以外の想定条件がある場合、⑧その他の空欄にその内容を記載してください。
- ・①～⑧の実員数および常勤換算数の合計が自施設の全看護職員数になります。
- ・複数免許を有する場合には、実際に行っている業務に最も関係する資格欄に記入してください。例えば、助産師、看護師の免許を有していても看護師業務を行っている場合、「看護師」欄に記入してください。
- ・常勤換算については、所定労働時間外で働く全勤務者の週の合計時間を所定労働時間で除して算出してください。

(常勤換算値の計算例) 1週間の所定労働時間が40時間で、所定労働時間以外で働く全勤務者の週の所定労働時間の合計が950時間の場合

⇒週950時間/所定労働時間40時間＝23.8人 小数点以下第2位を四捨五入してください。

想定条件	看護職員配置(A～Cのうち、方針を一つ選択し、該当するもの全てに○:重複回答)				実員数	常勤換算数
①急性(平均在院日数:15日程度)	A.病床数を増やし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	B.病床数を減らし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	C.病床数を維持し、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
②高度急性期(平均在院日数19～20日)の病床数の増減	A.病床数を増やし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	B.病床数を減らし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	C.病床数を維持し、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	次ページへ続く					

想定条件	看護職員配置(A～Cのうち、方針を一つ選択し、該当するもの全てに○:重複回答)				実人員数	常勤換算数
③一般急性期 (平均在院日数 13日～14日程度) の病床数の増減	A.病床数を増やし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	B.病床数を減らし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
④亜急性期リハ 等(平均在院日 数:75日程度) の病床数の増減	C.病床数を維持し、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	A.病床数を増やし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
⑤医療療養病 床数の増減	B.病床数を減らし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	C.病床数を維持し、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
⑥手術件数の 増減	A.手術件数を増やし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	B.手術件数を減らし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
⑦分娩件数の 増減	C.手術件数を維持し、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	【看護師】					
	A.分娩件数を増やし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	B.分娩件数を減らし、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
	C.分娩件数を維持し、					
	1.看護配置基準を上げる	2.看護配置基準を維持する	3.看護配置基準を下げる	4.看護補助者配置基準を上げる		
次ページへ続く						

想定条件	看護職員配置(A～Cのうち、方針を一つ選択し、該当するもの全てに○:重複回答)	実人員数	常勤換算数
⑦分娩件数の増減	【助産師】		
	A. 分娩件数を増やし、 1.助産師配置基準を上げる 2.助産師配置基準を維持する 3.助産師配置基準を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	B. 分娩件数を減らし、 1.助産師配置基準を上げる 2.助産師配置基準を維持する 3.助産師配置基準を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	C. 分娩件数を維持し、 1.助産師配置基準を上げる 2.助産師配置基準を維持する 3.助産師配置基準を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
⑧外来・健診、地域連携機能(担当部門・センター等も含む)の縮小・拡大	【看護師】		
	A. 外来・健診や地域連携機能を拡大し、 1.看護配置基準を上げる 2.看護配置基準を維持する 3.看護配置基準を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	B. 外来・健診や地域連携機能を縮小し、 1.看護配置基準を上げる 2.看護配置基準を維持する 3.看護配置基準を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	C. 外来・健診や地域連携機能を維持し、 1.看護配置基準を上げる 2.看護配置基準を維持する 3.看護配置基準を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	【保健師】		
	A. 外来・健診や地域連携機能を拡大し、 1.保健師配置基準を上げる 2.保健師配置基準を維持する 3.保健師配置を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	B. 外来・健診や地域連携機能を縮小し、 1.保健師配置基準を上げる 2.保健師配置基準を維持する 3.保健師配置を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	C. 外来・健診や地域連携機能を維持し、 1.保健師配置基準を上げる 2.保健師配置基準を維持する 3.保健師配置を下げる 4.看護補助者配置基準を上げる		
	⑩その他		
①～⑧の合計		0	0
(再掲)⑥の助産師数		0	0
(再掲)⑦の保健師数		0	0

資料6-1 A県における実際値と現員数に差が生じた場合の理由（実人員）

病院ID	根拠
1	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい 研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい
2	現行の看護必要度を考慮し、自院の入院基本料算定区分を引き上げたい 患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい 過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい 新人看護職員や再就業者に対する業務のサポートやフォローを直接的に行うことができる中堅看護職の増員を図りたい 研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい 外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい 看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい 労務管理機能を強化するために増員を図りたい 管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい
3	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
4	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい 新人看護職員や再就業者に対する業務のサポートやフォローを直接的に行うことができる中堅看護職の増員を図りたい 研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい 外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい 看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい 労務管理機能を強化するために増員を図りたい 管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい
5	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
6	未回答
7	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい 過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい 研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい 外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい 看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
8	未回答

資料 6－2 A 県における実際値と現員数に差が生じた場合の理由（常勤換算数）

病院ID	根拠
1	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい
	研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい
	現行の看護必要度を考慮し、自院の入院基本料算定区分を引き上げたい
2	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい
	新人看護職員や再就業者に対する業務のサポートやフォローを直接的に行うことができる中堅看護職の増員を図りたい
	研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい
	外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい
	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
3	管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい
	未回答
4	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい
	新人看護職員や再就業者に対する業務のサポートやフォローを直接的に行うことができる中堅看護職の増員を図りたい
	研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい
	外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい
	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
5	管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい
	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
6	未回答
7	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい
	研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい
	外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい
8	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
	常勤職員の10%が産休・育児休暇に入り、また当初予定していたより多くの産休・育児休暇者がでたことにより減少。

資料 7-1 B 県における実際値と現員数に差が生じた場合の理由（実人員）

病院ID	根拠
9	未回答
10	未回答
11	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい 看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
12	未回答
13	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
14	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
	研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい
	外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい
	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
15	管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい
	育児休業取得による減員
	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
	研修体制、実習受け入れ体制の充実化を図るために増員を図りたい
	外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい
16	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
	管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい
17	未回答

資料 7-2 B 県における実際値と現員数に差が生じた場合の理由（常勤換算数）

病院ID	根拠
9	未回答
10	未回答
11	未回答
12	未回答
13	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
	外来機能の拡大に対応するために増員を図りたい
	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
	管理体制、専門機能の充実化のために増員を図りたい
14	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
15	育児休業取得による減員
16	労務管理機能を強化するために増員を図りたい
17	未回答

資料 8-1 C 県における実際値と現員数に差が生じた場合の理由（実人員）

病院 ID	根拠
18	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
	看護外来を開設したり、地域連携を担う看護職員を配置したりするために増員を図りたい
19	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
	過密・過剰業務が引き起こすインシデントやアクシデントの発生件数を減らすために増員を図りたい
	労務管理機能を強化するために増員を図りたい

資料 8-2 C 県における実際値と現員数に差が生じた場合の理由（常勤換算）

病院 ID	根拠
18	患者ケアや患者教育・指導にあたる時間を増やすために増員を図りたい
19	未回答

資料 9－1 A 県における需要数の実人員数、常勤換算数を積み上げた根拠

病院 ID	根拠
1	急性期の病床数を維持し、看護補助者配置基準をあげる
	亜急性期リハなどの病床数を維持し、看護配置基準をあげる
	医療療養病床の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	外来・検診や地域連携機能を維持し、看護配置基準をあげる
	外来・検診や地域連携機能を維持し、保健師配置基準を維持する
4	急性期の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	高度急性期の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	亜急性期リハ等の病床数を維持し、看護配置基準をあげる
	手術件数を増やし、看護配置基準を維持する
6	外来・検診や地域連携機能を維持し、看護配置基準を維持する

資料9-2 B県における需要数の実人員数、常勤換算数を積み上げた根拠

病院ID	根拠
7	亜急性期リハなどの病床数を維持し、看護配置基準をあげる
	医療療養病床の病床数を維持し、看護配置基準をあげる
	外来・検診や地域連携機能を拡大し、看護師配置基準をあげる
9	高度急性期の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	手術件数を増やし、看護配置基準をあげる
	分娩件数を維持し、看護配置基準を維持する
	外来・検診や地域連携機能を拡大し、看護師配置基準をあげる
11	高度急性期の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	一般急性期の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	手術件数を維持し、看護配置基準を維持する
	外来・検診や地域連携機能を拡大し、看護師配置基準をあげる
	外来・検診や地域連携機能を拡大し、保健師配置基準をあげる
12	急性期の病床数を減らし、看護配置基準をあげる
13	急性期の病床数を維持し、看護配置基準をあげる
	手術件数を増やし、看護配置基準をあげる
	外来・検診や地域連携機能を拡大し、看護師配置基準と看護補助者配置基準をあげる
	外来・検診や地域連携機能を拡大し、保健師配置基準を維持する
14	一般急性期病床の病床数を維持し、看護配置基準をあげる
	手術件数を維持し、看護配置基準をあげる
	分娩件数を維持し、看護配置基準を維持する
	外来・検診や地域連携機能を拡大し、看護師配置基準をあげる
	外来・検診や地域連携機能を維持し、保健師配置基準を維持する
15	一般急性期の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	手術件数を維持し、看護配置基準を維持する
	外来・検診や地域連携機能を維持し、看護配置基準を維持する
	外来・検診や地域連携機能を維持し、保健師配置基準を維持する
16	一般急性期の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	医療療養病床の病床数を維持し、看護配置基準を維持する
	手術件数を増やし、看護配置基準をあげる
	外来・検診や地域連携機能を維持し、看護配置基準を維持する
	外来・検診や地域連携機能を維持し、保健師配置基準を維持する

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
第七次看護職員需給見通し期間における看護職員需給数の推計手法と
把握に関する研究
平成 24 年度 総括・分担研究報告書

平成 25 年 3 月

研究代表者 小林美亜
千葉大学大学院看護学研究科 病院看護システム管理学 准教授
〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL&FAX:043-226-2766 E-mail:mkobayashi@chiba-u.jp

調査事務局 ヘルスケアリサーチ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座 2 丁目 2 番 12 号たちばなやビル 3 階 C+内
TEL : 03-6665-0578 FAX : 03-6856-2861
